

実習・実技、企業連携等の取り組み

授業科目名	臨地実習Ⅱ	授業時数又は単位数	405時間 9単位
実施期間	平成28年4月4日～平成28年7月27日 51日間		
実習・演習等の目的及び概要	主に一般歯科診療所において担当指導者の指導の下に見学や実践を行い、これまでの学習を総合的に捉え、知識や手技の実際を認識する		
企業等との連携の基本方針	本科では、「多様化する地位住民のニーズ（要望）に応えられるよう、多（他）職種と連携しながら自らの専門性を発揮できる歯科衛生士を輩出する。」を養成目的としている。そのために実習では、机上で学べない歯科衛生士に必要な知識と技能および態度を身につけさせることを基本方針として実習を行っている。具体的には、患者様への接し方や学んだ知識、手技を実習指導者の指導の下に実施し、歯科衛生士に必要な基礎的な職業教育を実践する場として施設と連携する。		
企業等との連携内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士養成所指導要領に基づく歯科診療補助業務および歯科予防処置業務ならびに歯科保健指導業務全般の実践とその実技指導 ・ 歯科衛生過程に則った症例の検討と介入の実践 		
学修成果の評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の成績評価は、実習前および実習後教育、実習施設の評価、実習日誌および実習後レポートを総合し評価する（学則第13条-6） ・ 実習評価は実習前試験、実習施設の評価、実習後試験のそれぞれで評価し、実習指導の科目がある場合は実習および実習指導の評価と同一とし、別に単位を換算する（学則施行細則第5条1-6） 		

実習・演習等計画

日程	実習・演習等の内容	実施場所
平成28年1月28日、2月4日	<p><実習前教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨地実習の心得、身だしなみの確認 ・ 実習ノートの具体的な活用方法（記入、記録、到達目標、ケース記録） 	学内
平成28年2月22日	<p><事前訪問オリエンテーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習施設にて指導者との顔合わせ、施設内見学、実習時の注意事項の伝達を受ける。 ・ 実習指導者と今期の到達目標についてすりあわせを行う 	各実習施設
平成28年4月4日～7月27日 毎週月・火・水曜日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種術式における歯科診療補助の見学と実践を行う ・ 実習指導者の指導の下に歯科予防処置、歯科保健指導の見学と実践を行う ・ 歯科衛生過程に則った症例検討と介入を期間中に2症例実施する 	各実習施設
平成28年4月4日～7月27日 毎週木・金曜日	<p><実習後教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該週の実習日誌およびケース取得表を提出し、クラス担任より添削と指導を受ける。 	学内
平成28年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全実習日程終了後に自己評価を行うことによって実習期間中の成長を振り返り、到達目標との差異を認識して次回実習に繋げる。 	学内
連携する企業等	森デンタルクリニック、医療法人社団開成会 葛西東歯科医院、岡崎歯科、医療法人社団光潤会 ハタデンタルクリニック、医療法人社団統鶴会 スマイルデンタルクリニック ほかに計6施設	

